

トピックス **ぶらす**

12/24

## 支え合おう「こころ」と「いのち」

自ら命を絶ってしまう悲しい自殺を予防するとともに市民への理解を広げようと「自殺予防キャンペーン」が12月24日、ロックシティ佐沼店で開催されました。キャンペーンには、市自殺予防対策連絡協議会の委員約20人が参加し、相談事業のチラシやティッシュを配布して、「悩み事や困り事は、一人で悩まず相談しましょう」と呼び掛けました。



▲年末の買い物客でにぎわう会場でキャンペーンをPR

1/8～11

## 全国の名物丼が自慢の味を競い合う

日本の名高い「祭り」と各地の「味」が一堂に集うイベント「ふるさと祭り東京2010」が1月8日～11日までの4日間、東京ドームで開催されました。市からは、各県の自慢の丼を競いあう「ご当地どんぶり選手権」に油麩丼が出席しました。結果は惜しくも優勝は逃しましたが、最終日には行列ができるなど、宮城の「登米」を全国にPRしました。



▲手軽でヘルシーな油麩丼は女性や子どもにも大人気

1/9～11

## 絵画で登米市を再発見

市内の稲刈りの風景や祭りなどを描いた風景画コンクールの作品展が、1月9日から3日間、登米祝祭劇場を会場に行われました。作品展には、市内の小中学生から応募のあった作品のうち、審査で選ばれた72点の力作が展示され、期間中会場に訪れた市民は、子どもたちの生き生きとした作品の数々に、登米市の素晴らしさを再発見していました。



▲素晴らしい作品を見ようと多くの人が訪れた会場

1/20

## 広げよう「食育」の輪

「食と農をつなぐ食育のネットワークをつくろう」をテーマに登米市食育フォーラムが1月20日に開催され、約200人が参加しました。フォーラムでは、食育活動の紹介や女子栄養大学の田中久子さんの講演、登米の食材を活かした試食などが行われ、参加者は各団体の食教育活動を知ること、人とのつながりや食育の重要性について学びました。



▲学校栄養士の皆さんが子どもたちへの食育場面を紹介

## 米山で冬休み子供フェスティバル

## 一堂に集い冬休みの思い出を

公民館図書の利用拡大や、子どもたちの心に残る充実した冬休みを送ってもらおうと12月23日、「冬休み子供フェスティバル」が中津山公民館を会場に開催されました。当日は、冬休みが始まったばかりの米山地区内の小学生90人が、キンボールなどのニュースポーツ4種目を体験したほか、紙芝居を見たり、クリスマス用の飾り物を工作したりしました。参加した子どもたちは、普段読まないような本を読んだり、体育館で体を動かしたりして楽しみながら活動をしていました。



▲子どもたちの中には、初めて紙芝居を見る子どもも多くいました

## みんので一緒にもちつき体験

## 豊里保育園で祖父母参観もちつき大会

豊里保育園で1月14日、「祖父母参観もちつき大会」が行われました。大会では、園児全員でもちつきの歌を歌っておじいさんおばあさんをお出迎えした後、きりん組（5歳児）の園児24人が自分の名前とおじいさんおばあさんの名前を紹介。その後、子どもたちとおじいさんおばあさんが、きねを持って順番にべったん、べったんと上手にもちをつきました。園児たちは体験したことのないもちつきを楽しみ、つきあがったもちは、あんこもちとお雑煮にしてみんなでおいしく食べました。



▲おじいさんおばあさんと一緒に一生懸命もちをつきました

## 小さい体で大きな人文字

## 石越幼稚園で110番の日人文字作戦

1月10日の110番の日を記念して「110番の日人文字作戦」が石越幼稚園で1月12日に行われました。事業では、はじめに代表園児に1日警察署長の委嘱が行われた後、園庭で人文字作りを実施。自主防犯組織の「石越地区孫護区シルバー隊」の皆さんの協力をもらって、パトカーを引っ張る「110」の文字を描きました。上空を巡回する宮城県警察のヘリコプターから撮影が行われ、園児の皆さんへ「風邪と事故に注意してください」とメッセージが伝えらると、園児は笑顔で手を振り応えていました。



▲安全・安心への思いを込めて作成した110番の日の人文字メッセージ